（大正十四年十一月十八日第三種郵便物認可）

磐城之實業

毎月（二回）十日廿五日發行

發行兼編輯人　大和田與平
印刷人
發行所　磐城之實業社
磐城郡平町字南町九十二
電話五二二番

定價
一部金八錢郵税共
一年分一四九十錢
一年分一四九十錢
廣告料一行五十錢
但指定場所增十錢

本紙は本社の私有にあらず社會共有の公的言論機關也常に紙面を開放して何人の為めにも其利用を快諾し持に主として實業界の機關となり努めて實益を主眼とす

本紙の信條

本紙は絶對不可侵の權威を以て論議公正にして愚劣無價値の記事を採らず磐城地方唯一の實業機關たるの本領を發揮す之本紙の使命也

實業評論

本年初刷に於て本紙上に聲名した處に基いて心にカンフル注射の意味で此の一文を書く、讀み度くない人は讀まなくても良い、そんな人はやがて來る自己破滅の墓を堀る人だ。

しかし斯く利いた風の事を言ふくせに果してお爲めになるか如何かこの記事は判らない、まあ、欺されたと思つて讀んで貰へばよい。

斯う不景氣となると日常生活法を合理的な消費經濟を基調とした上に置く必要があろふ。至難しい理論は抜きにして、日常生活に對し國民が一致して消費に注意して無駄を省けばその金額は幾億を以て數へる事が出來る。手近かな例をあげると、吾が國の世帶數は大正十四年十月の國勢調査によると千二百萬千三百餘世帶ある、一日一世帶の家庭で百粒の米、又は御飯粒を無駄に粗末に消費すると十二億十三萬餘粒、一升が六萬八千粒と見て實に百七十六石四斗九升、一ケ年には六萬四千四百十九石となり四斗に換算して十六萬千四十七俵となる、これを白米一石三十八圓と見て二百四十六萬七千九百二十三圓となりなほこれだけの米があれば一ケ年六萬四千人の生命が繋いで行ける譯となる。

何んと大したものでは無かつても米國が第一で五百六十四圓、英國が次いで四百三十一圓、佛國三百五十九圓、伊太利百七十圓、ルーマニア百十七圓、ギリシヤ百二十六圓である。世界の一等國で三千六百餘萬人一ケ年百三十一億四千百四十二萬餘本九十本入りの小箱にて一億四千六百一萬五千八百一箱一錢と見て百四十六萬千五百八十圓になる。

今煙草に費すマッチを紙卷煙草に一本、刻五厘に二十本と見て大正十三年專賣局の賣拂高、紙卷煙草二九八〇五、四二八〇〇〇本、刻煙草六三七一、一六八六萬千五百八十圓になる。

斯く不景氣となると日常生活法を合理的な消費經濟を基調とした上に置く必要あろふ。至難しい理論は抜きにして、日常生活に對し國民が一致して消費に注意して無駄を省けばその金額は幾億を以て數へる事が出來る。手近かな例をあげると、吾が國の世帶數は大正十四年十月の國勢調査によると千二百萬千三百餘世帶ある、一日一世帶の家庭で百粒の米、又は御飯粒を無駄に粗末に消費すると十二億十三萬餘粒、一升が六萬八千粒と見て實に百七十六石四斗九升、一ケ年には六萬四千四百十九石となり四斗に換算して十六萬千四十七俵となる、これを白米一石三十八圓と見て二百四十六萬七千九百二十三圓となりなほこれだけの米があれば一ケ年六萬四千人の生命が繋いで行ける譯となる。

次ぎに一世帶に一日三本のマッチを節約すると、全國で三千六百餘萬本一ケ年百三十一億四千百四十二萬餘本九十本入りの小箱にて一億四千六百一萬五千八百一箱一錢と見て百四十六萬千五百八十圓になる。

今煙草に費すマッチを紙卷煙草に一本、刻五厘に二十本と見て大正十三年專賣局の賣拂高、紙卷煙草二九八〇五、四二八〇〇〇本、刻煙草六三七一、一六八六萬千五百八十圓になる。

斯う不景氣となると日常生活法を合理的な消費經濟を基調とした上に置く必要あろふ。至難しい理論は抜きにして、日常生活に對し國民が一致して消費に注意して無駄を省けばその金額は幾億を以て數へる事が出來る。手近かな例をあげると、吾が國の世帶數は大正十四年十月の國勢調査によると千二百萬千三百餘世帶ある、一日一世帶の家庭で百粒の米、又は御飯粒を無駄に粗末に消費すると十二億十三萬餘粒、一升が六萬八千粒と見て實に百七十六石四斗九升、一ケ年には六萬四千四百十九石となり四斗に換算して十六萬千四十七俵となる、これを白米一石三十八圓と見て二百四十六萬七千九百二十三圓となりなほこれだけの米があれば一ケ年六萬四千人の生命が繋いで行ける譯となる。

次ぎに一世帶に一日三本のマッチを節約すると、全國で三千六百餘萬本一ケ年百三十一億四千百四十二萬餘本九十本入りの小箱にて一億四千六百一萬五千八百一箱一錢と見て百四十六萬千五百八十圓になる。

今煙草に費すマッチを紙卷煙草に一本、刻五厘に二十本と見て大正十三年專賣局の賣拂高、紙卷煙草二九八〇五、四二八〇〇〇本、刻煙草六三七一、一六八六萬千五百八十圓になる。

斯う不景氣となると日常生活法を合理的な消費經濟を基調とした上に置く必要あろふ。至難しい理論は抜きにして、日常生活に對し國民が一致して消費に注意して無駄を省けばその金額は幾億を以て數へる事が出來る。手近かな例をあげると、吾が國の世帶數は大正十四年十月の國勢調査によると千二百萬千三百餘世帶ある、一日一世帶の家庭で百粒の米、又は御飯粒を無駄に粗末に消費すると十二億十三萬餘粒、一升が六萬八千粒と見て實に百七十六石四斗九升、一ケ年には六萬四千四百十九石となり四斗に換算して十六萬千四十七俵となる、これを白米一石三十八圓と見て二百四十六萬七千九百二十三圓となりなほこれだけの米があれば一ケ年六萬四千人の生命が繋いで行ける譯となる。

次ぎに一世帶に一日三本のマッチを節約すると、全國で三千六百餘萬本一ケ年百三十一億四千百四十二萬餘本九十本入りの小箱にて一億四千六百一萬五千八百一箱一錢と見て百四十

政界八ッ當り

◇若槻首相の『深甚なる考慮』に目尻を下げた二黨首がグーダラかあれ程険悪の形勢を示した政戰の舞臺を一變せしめた首相の舌三寸が偉か、今後の推移を見るより他ないが殘された ものは首相の振出手形『考慮』と暗黑政治黨首本位の醜狀暴露のみ

◇世には首相の『考慮』を目してペテンなりとし五十年の政治生活を称に振った賓浦老を引例して在野兩黨就中政友會のお人好さ加減を喘ふと同時に其の二の舞を演することを秘かに期してゐる向きが多い。

◇然るに政友會邊りでは『考慮』を以て或る時期に於て辭職するの意に解し只管に之れにすがつてアレも好しコレも良しと政府提出の諸案を通過させる迄に突きつめた考へを抱いてゐる。

◇處が肝心要めの首相は『考慮』を以て文字通りに解釋すべきものなりと公言した、此の『文字通り』か亦頗る厄介千萬な言ひ草で從來幾度か考慮することを忘れなかつに若槻首相の態度に徴して野黨が千載に悔ひを殘す禍根なるものではないかが危ぶまれてならぬ。

◇三黨首の四十分斗りの會合で時局が平穏になるこれは一面に於て如何に黨内の信望厚きかを物語るやうで眞事に結構なことであるが政策は黨首の政策ではなく黨そのものゝ政策である筈だ。

◇國民は何れの政黨を問はず其の看板によつて支持し或は忌避する然も堂々と天下に聲明し附けたりとして反對黨の政策をコキ下してゐたものが一度政權の匂ひをかがされると一も二もなく幟を捲いて反對黨の政策に和す。

◇然も彼等は尚ほ政黨で御座ると國民の前にノサバルことを忘ないレイ〳〵しく看板を押し立てる普選を前に既成政黨打破の聲漸く大となつたも政黨自身の招いた罪だ我等は此の見地から既勢政黨のオ陀佛を念ず。

◇成程、大臣病者、政權慾患者は戀て自分の望みが達せられる譯でこんな嬉しいことはないだらうが主義主張に共鳴して其の黨を信頼してゐた國民は一體何を以て酬ひられるのだらう？出し抜かれたと云ふ事實以外何が殘らう？。

感服したりやな
栗金君の大手腕
會社製造の新レコード
出願加入金一人前三十圓也

栗原金次郎君と云へば四倉町に住して平町に活動する人、そして大漁電氣劇では出場役者の筆頭、最も此の町民反對フ井ルム中には劇作家山崎君や端山正男君があるとの話だけれど是等は今回の栗金君の大手腕に關係ありや無きかは

詮策しないことゝして先づ平、四倉間七哩五分に軌道敷設して大いに交通機關の便益を計ると云ふ社會奉仕事業其の會社製造に取り懸つて工費十五萬圓の豫算を發表したには栗金君の大勇猛ならでは出來得ぬ計劃であらうと舌を卷いて氣を遠くする人が隨分にあるとの噂である、現在十數臺の自動車が運轉され國道幅員が狹いとまで嘆聲を洩されるに係はらず此處にご遠慮なしの軌道敷設は憲政内閣なればこそお許しもあるだらう君も憲派の一人とあれば……處で夏井川と新田川とに架設する鐵橋ばかりでも豫算工費の大部分を投せなくてはなるまいに、さて〳〵、栗金君の設計は

輕便格安に出來るものと見える、然り而して此の特別有望なる會社製造に共鳴して共存共榮の實をあぐる者共に出願加入金として一人前三十圓を

奉納させるとのこと幸ひにして五萬圓も同情家があれば十五萬圓の工費は何の苦もなく集まる譯だから株式募集の手段も要さなければ此の神樣の樣な栗金君に依つて立派に交通至便の恩惠に地方人は浴することを得る、此處に於て栗原●●金次郎●●正一位軌道大明神と祭られる事となるが一方四倉町の中野捨興さん外九名の出願にかゝる無軌道電車の計劃もあつて見れば事はごう變化するものやら此

喜捨

農産物は世界的下落の現象

米が安い、麥が安い、野菜果物が安い、繭が安い農家の手に依つて成るものは悉く安い、農業は不引合である、何とか善後策を講じなくてはならないと言はれ全く同情に價する狀況ではあるが、此農産物の安いのは獨り日本ばかりではない、世界的の農産物下落である、斯う考へれば聊か氣安めにもなる、就中生産物は値下りで弱つてるのは米國の棉花栽培業者である棉花が大豊作であつた爲め慘落又慘落農家の困難一ト通りでなく大仕掛な救濟策が行はれる始末の損害はザット六億弗と稱されるから敗字上から見ても少しの難儀ではなかりそふである、又小麥が安い此打撃も尠くないそれから蘭貢、西貢方面の米産地も大豊作で相場が下落すると云つた調子で農産物の下落は全く世界的であるから如何とも致し方ない年廻りであつてアセッて善後策など考へて見てもそれは洪水を掌で堰き止めようとすると舌を卷いて氣を遠くするに均しいものであるそう

無題錄

大和田兄机下、予は流行の言語と又物品の名稱に於て更に甚しきものあり賣藥化粧品等の名稱にクレームの如き外國語をそのまゝ用ふるは猶許すべしキレイ石鹸といひハータ香水と言ふが如き日本語を片假名にて書き外國語らしく見せかけたるはあまりに見識なく愚劣の極みなりされどそれ等は元より無學なる商人のなすところにして婦女子の好奇心を惹き一時の利を貪らんとするに過ぎざれば深くとがむるに足らず一時東京にパンと饅頭とを作り合せパンチウと名を付けて賣れる類の俗事なればとがむるに當らず茲に予の聊か一言なき能はざるは公共事業の廣告又は官廳の掲示の如き社會一般の面目に懸るものに就

◎和洋二重生活の混亂は單に衣食住の外觀に止らず日常の言語と又物品の名稱に於て更に甚しきものあり賣藥化粧品等の名稱にクレーム彼の節約デーと云ふが如き外國語をそのまゝ用ふるは日本語とまた日本文明とのために悲しまずんばあるべからず今日世人頻りに漢字の節限を說く時の和洋混合の新語をつくるは一を節して一を增し其繁雜の結果に至つては遂に變る所なかるべし。

◎英語と日本語をつぎ合せて新語を作るは日本語とまた日本文明とのために悲しまずんばあるべからず今日世人頻りに漢字の節限を說く時の和洋混合の新語をつくるは一を節して一を增し其繁雜の結果に至つては遂に變る所なかるべし。

◎第二十二　電話を繁々かけ手紙を矢鱈にやるべからずそれは好かれたりてからの事なり好かれぬ前

◎第七　悪ふざけと除りの酒拂ひは最初女と舍した時の肌合がかんばしなり好かれるのも最初の見參にあり

◎第二十一　なるべく〳〵行かぬかよし

株式會社磐越銀行　改稱第十七回

花柳讀本　—藝者に好か

▲山形家▲
（山子）大森村信夫郡長島キクヨ（一八）
（小歌）新潟市船場町石城郡四倉町新町稻野はる江（二〇）
（君香）川會町水戸市上田きみ（一八）

▲開花亭▲
（花森）茨城縣那珂郡湊町深谷よし（二三）
（花奴）平町仲間町内田はな（二〇）
（友奴）炎城縣那珂郡靜町寺門きよ（一八）
（花代）水戸市上市ときし（一九）

（花丸）安積郡富久山村設樂貞子（一九）
（花美）石城郡小名濱町明神町小野みさ（二三）
（花岩）宮城縣亘理郡荒濱町神田みね（二五）
（駒吉）水戸市下市原三町上田きみ（一八）

たいふぐからず殊に新聞の一二面の話で既爪らしいことは禁物なり藝妓は皆な自分が美人なりと思つてゐるものなり然るに雖を打つべ

徒弟入用　年齢十四歲より十五歲位の者
將來最も有望なる婦人文化職業我が身の安定を欲する婦人は御來談を乞ふ
美髮所　アツマ

社員招聘
年齢二十歲前後の青年を固定給にて招聘す。（來社面談は午前九時迄）
磐城之實業社（平町古鍛冶町）

外科　婦人科花柳病科
東北醫學士市原陸郎
日本醫學士日高忠男

第十四回決算報告
自大正十五年七月一日至昭和元年十二月卅一日
貸借對照表
資產ノ部

	金額
貸付金	五、六五四、五三一、六一五
預金及公債	九、二五九、九五〇、五五六、八七四、五〇〇
營業用土地建物什器及所有雜勘定	六、六七五、八三〇
動產不動產	三、二五九、五〇〇
現金支店未達勘定	二〇〇、二八、七四九
合計	六、七三二、六七、〇四四

負債ノ部

	金額
資本金	七五〇、〇〇〇、〇〇〇
諸積立金	四九一、三五六、〇〇〇
預金	四、一五六、六五四、六七九
日本勸業銀行勘定	一、一七二、六五〇
他店ヨリ借入金	二、一八三、九一五
未拂配當金	五七、九四〇、八三〇
未拂利息及未經過割引料	九八、九六六、五四〇
當期純益金	六、七三二、六五七、〇四四
合計	六、七三二、六五七、〇四四

昭和元年十二月卅一日
株式會社
取締役　白井一郎
同　白井博之
同　木田織江
同　安島重三郎
同　山崎與三郎
同　諸橋久太郎
同　草野順平
監査役　高岡唯一郎
監査役　小野晋平
專務取締役

第十四期決算報告
昭和元年十二月卅一日現在
貸借對照表
資產之部

拂込未濟資本金	二、二五〇、〇〇〇、〇〇
有價證券	一六、七〇〇、〇〇
營業用土地建物什器	三、四二一、五九
土地建物什器	四、九九九、二
機械器具貯藏品	四、九九、二
與羽銀行同盟會基本金	二三、一六一、一五
諸有價證券	二〇、四二八、六〇
營業用土地建物什器	二三、七二一、六八
所有動產不動產	一七、二五六、五九
預ケ金及現金	七、二五六、五九
合計	一、四五一、〇四九、〇九

負債之部

資本金	五〇〇、〇〇〇、〇〇
諸積立金	六〇、〇五〇、〇〇
諸預リ金	七〇一、八七一、一五
他店ヨリ借入金及再割引手形	三二、八一五、二五
	七〇、〇〇〇、〇〇〇
當座預金借越	五〇、〇〇〇、〇〇
未拂配當金	五一、〇六
未拂利息及未經過割引料	二、一〇四、二四
第二種所得稅及資本利子稅	四三、〇一
當期利益金	二三、七一五、〇一
合計	一、四五一、〇四九、〇九

利益金處分

當期純益金	二三、七一五、二六
諸積立金	三、六〇〇、〇〇
役員賞與金	一、〇〇〇、〇〇
株主配當金『年九分』	六、六二七、五〇
後期繰越金	二、四七七、七六

右之通リニ候也
昭和二年一月十五日
福島縣植田町
株式會社磐東銀行
取締役頭取　江尻博孝
專務取締役　金成通
取締役　金成欽次
同　安島重三郎
同　金成金三
監査役　岡山保次郎
同　古川傳一
同　山野邊文雄

第十四期決算報告
昭和元年十二月卅一日現在
貸借對照表
資產之部

拂込未濟資本金	二、二五〇、〇〇〇、〇〇
有價證券	一六、七〇〇、〇〇
營業用土地建物什器	三、四二一、五九
土地建物什器	四、九九九、二
機械器具貯藏品	四、九九、二
與羽銀行同盟會基本金	二三、一六一、一五
諸有價證券	二〇、四二八、六〇
營業用土地建物什器	二三、七二一、六八
所有動產不動產	一七、二五六、五九
預ケ金及現金	七、二五六、五九
合計	一、四五一、〇四九、〇九

負債之部

資本金	五〇〇、〇〇〇、〇〇
諸積立金	六〇、〇五〇、〇〇
諸預リ金	七〇一、八七一、一五
他店ヨリ借入金及再割引手形	三二、八一五、二五
	七〇、〇〇〇、〇〇〇
當座預金借越	五〇、〇〇〇、〇〇
未拂配當金	五一、〇六
未拂利息及未經過割引料	二、一〇四、二四
第二種所得稅及資本利子稅	四三、〇一
當期利益金	二三、七一五、〇一
合計	一、四五一、〇四九、〇九

利益金處分

當期純益金	二三、七一五、二六
諸積立金	三、六〇〇、〇〇
役員賞與金	一、〇〇〇、〇〇
株主配當金『年九分』	六、六二七、五〇
後期繰越金	二、四七七、七六

右之通リニ候也
昭和二年一月十五日
福島縣植田町
株式會社磐東銀行
取締役頭取　江尻博孝
專務取締役　金成通
取締役　金成欽次
同　安島重三郎
同　金成金三
監査役　岡山保次郎
同　古川傳一
同　山野邊文雄

第十四期決算報告
昭和元年十二月卅一日現在
貸借對照表
資產之部

拂込未濟資本金	二、二五〇、〇〇〇、〇〇
有價證券	一六、七〇〇、〇〇
營業用土地建物什器	三、四二一、五九
土地建物什器	四、九九九、二
機械器具貯藏品	四、九九、二
與羽銀行同盟會基本金	二三、一六一、一五
諸有價證券	二〇、四二八、六〇
營業用土地建物什器	二三、七二一、六八
所有動產不動產	一七、二五六、五九
預ケ金及現金	七、二五六、五九
合計	一、四五一、〇四九、〇九

負債之部

資本金	五〇〇、〇〇〇、〇〇
諸積立金	六〇、〇五〇、〇〇
諸預リ金	七〇一、八七一、一五
他店ヨリ借入金及再割引手形	三二、八一五、二五
	七〇、〇〇〇、〇〇〇
當座預金借越	五〇、〇〇〇、〇〇
未拂配當金	五一、〇六
未拂利息及未經過割引料	二、一〇四、二四
第二種所得稅及資本利子稅	四三、〇一
當期利益金	二三、七一五、〇一
合計	一、四五一、〇四九、〇九

利益金處分

當期純益金	二三、七一五、二六
諸積立金	三、六〇〇、〇〇
役員賞與金	一、〇〇〇、〇〇
株主配當金『年九分』	六、六二七、五〇
後期繰越金	二、四七七、七六

右之通リニ候也
昭和二年一月十五日
福島縣植田町
株式會社磐東銀行
取締役頭取　江尻博孝
專務取締役　金成通
取締役　金成欽次
同　安島重三郎
同　金成金三
監査役　岡山保次郎
同　古川傳一
同　山野邊文雄

諸形文字　花鳥山水　結晶
巧妙なる意匠斬新なる技工に依つて硝子加工開店致しました多少に拘らず御用命の程御願致します特に圖案は「モデル」とし御希望の方は圖案を御持參の程御願ひます
商店
硝子加工
磐城平町紺屋町五番地
（吉田眼科醫院向ひ）

▲山形家▲
信夫郡大森村
（山子）長島キクヨ（八）
（小歌）石城郡四倉町新町
（君香）會川きみ（八）

▲開花亭▲
茨城縣那珂郡濱町
（花森）深谷よし（三三）
（花美）石城郡小名濱町明神町
（花岩）宮城縣亘理郡荒濱町
（花丸）安積郡富久山村
（花奴）茨城縣那珂郡靜町
寺門きよ（八）
（駒吉）水戸市下市原三町
上田きみ（八）
（花代）水戸市上市
芹澤とき（九）

（友奴）平町仲間町
内田はな（一〇）
（君香）宮城縣亘理郡荒濱町
神田みね（五）
（花丸）安積郡富久山村
設樂貞子（九）
（花美）石城郡小名濱町明神町
小野みさ（三）
（花岩）宮城縣亘理郡荒濱町
神田みね（五）

たゞは出來得ぬ計劃であらうと舌を卷いて氣を遠くする者共に出願加入金として一人前三十圓を奉納

徒弟入用
年齢十四歳より十五歳位の者
將來最も有望なる婦人文化職業我が身の安定を欲する婦人は御來談を乞ふ
平町掃槻小路一元訓盲院前
美髮所　アツマ

年齢二十歳前後の青年を固定給にて招聘す。（來社面談は午前九時迄）
磐城之實業社（平町古鍛治町）

社員招聘

株式會社
磐越銀行
改稱第十七回
昭和元年下半期
決算公告

貸借對照表

負債之部

資本金	八五〇、〇〇〇、〇〇〇
諸積立金	六二、五〇〇、〇〇〇
諸預り金	六七九、一〇八、四一〇
爲替借及借入金	六五、二三九、六四〇
未經過割引料	七、八六四、六四〇
未拂利息	九、〇一一、二五〇
未拂割賦金	七四二、七〇〇
當期純益金	二五、〇六五、三六〇
合計	一、六九九、五三二、〇〇〇

資産之部

未拂込資本金	六〇四、五〇〇、〇〇〇
諸貸出金	八九六、八一三、八六〇
割手、荷手	一九、〇一一、五九〇
爲替貸	二七、九七五、三三〇
國債及所有物	九七、九六七、〇〇〇
預ケ金及現金	五三、二六四、二三〇
合計	一、六九九、五三二、〇〇〇

利益金處分

當期純益金	二五、〇六五、三六〇
之レヲ處分スルコト左ノ如シ	
法定準備金	二、五〇〇、〇〇〇
特別積立金	二、〇〇〇、〇〇〇
行員退職給與積立金	五〇〇、〇〇〇
重役賞與金	四九〇、八六〇
株主配當金	九、五七四、五〇〇
後期繰越金	一〇、〇〇〇、〇〇〇

右之通り候也

昭和貳年壹月

株式會社
磐越銀行
專務取締役　取締役　中野甲藏
取締役　西岡重好
取締役　小野靜重
取締役　薗田嘉藏
監査役　明智淺吉
監査役　大谷喜作
相談役　鈴木堅助
相談役　森本盛一

花柳讀本
＝藝者に好か＝れる虎の卷

花柳哲學の講師として粹樣よりの受賞を發表致します是れは要するに本紙一面掲載の美形諸嬢の生國本名を見るに付けての參考資料となつて左の三十個條を守つて藝妓に對するとせば滿更憎い男とは思はれぬは必定であります何ふも老いては淫なし遊びは若き時に澤山するが四割も五割も德用と知り給ひアーメン

◎第一　先づ第一は金放れのよき事なり

◎第二　誠實な必要とす決して虛僞りを言ふべからず庭には金の茶釜がコロ〳〵轉つてゐる樣な有福なてらふべからず藝妓を欺すには虛僞たるはよけれど好かれる事にはならず

◎第三　物事に一通りは通じてゐる事を肝要とす何も不通ては相手にされず

◎第四　知つたか振りを慎しむこと　なり知つたか振りは化の皮が露はれるものあらはれては男振りを下げること幾千尺を知らず

◎第五　しつこさしき事は夢にも言ふべからず藝妓は浮氣稼業それなしつこされると蒼蠅がられるものなり

◎第六　意氣を殺ぶツマリ肌合が野暮では所詮好かれる事遠しそして最初女と會した時の肌合がかんぬなり好かれるのも最初の見參にあり

◎第七　悪ふざけと餘りの醉拂ひは禁物なり

◎第八　客だといふ如な顏をすべからず祝儀と玉を拂へば客だと樣顏ばげいしやの意を損ねることは火よりも明かなり

◎第九　ほゝ間的態度を禁ず藝妓に見縊らるゝものなりさりとて藝妓扱ひにしては藝妓も面白からずそこに智慧を要す

◎第十　もちひかれば深よく直やる可しやらぬと云ふは野暮なり藝妓は假令ほれた男の座敷でもちらひかれればそこへ行きたいものなり一晩に五座數も六座數も勤めて歩き廻ることが大なる見得なればなり

第十一　話を反らさぬこと藝妓との會話は至難しきものなり藝妓との話に理窟は言はぬもの也たいなき話でもそれに合はせて面白がること面白くないのを面白がるのは何にもつらき事なれど藝妓に好かれたいと思へば此位の辛抱はなすべし

◎第十二　小さつぱりした身裝たるべし決して着飾つて行くことは無用なり客らしきなりにて結構なり餘所行きのなりより小さつぱりした平素着をよしとす

◎第十三　餘り呼び騷ぐべからずさりとて端唄の一つ位は唄はざるべからず

◎第十四　自分達の樂屋落や悪口たいふべからず殊に新聞の一二面の話で座爪らしいことは禁物なり藝妓は皆な自分が美人なりと思つてゐるものなり然るに雜を打つべからず又た其着物は見つても無い柄が不似合なゝ言ふべからず藝妓の氣持を惡くするものなり

◎第十五　顏を清潔にすべし餘り髭ぼう〳〵は見苦しきものなり藝妓に好かるることを希望せども顏は成べく清くなし置くべし

◎第十六　爪を剪つて置くべし爪の生に過ぎてゐるのは不潔なり最黨をぼりかゆい所を掻くのはよけれど歯を受けたり鳥渡握手などの場合に爪の汚きは如何にも興を醒ますものなり

◎第十七　新らしき足袋を穿くこと足袋は成べく新らしきを下駄は成べく立派なものを履くべしそこに客の價値があるなり

◎第十八　のろけを言はすのろけを拜聽することかん要なり藝妓の間ほれてゐる〇〇ありとしてそのろけを言へば合槌を打つてやるべし彼等は嬉しがるべし

◎第十九　頼みを聞いてやるべし法外の頼みなら斷るのに論無けれど一日てすが來て下さいと言はれそれを斷るなどは藝しやの期待を裏切つて失望をさせ引いて好かれること遠し

◎第二十　いたはるべし忙しいのに氣の毒だつたれ位は言つてやるべし

◎第二十一　藝しや屋へ遊びに行くべからずいらつしやいと云つてもまあ〳〵行かぬかよし

◎第二十二　電話を繁々かけ手紙を矢鱈にやるべからずそれは好かれたりてからの事なり好かれぬ前には苛場がられるものなり

◎第二十三　何時迄も何時迄も長ゐること無用なり切り上げ時を早くしてやるべし

◎第二十四　すかれたいと思はゞその藝しやの仲のよい藝しやにもすかれるやうにせざるべからず又そのげいしやの仲の悪いげいしやを一座させるべからず

◎第二十五　馬鹿にされてゐて心を強くもつべし自分の氣の知れぬ樣にして置くべし

◎第二十六　けいしやの年を若く見てやるべし若くさへ云へばうれしがるものなり

◎第二十七　何時も同じ料理屋へのみ行くべからず、偶には變つた處から招ぶべし又たげいしやが嫌がる家や女中と心があはぬ處へも行かぬやうにすべし

◎第二十八　偶には無心を云はれぬ前にげいしやの喜ぶやうなことを爲すこと

◎第二十九　不意口で無く成るたけお約束にして置くこと

◎第三十　旅行先ゝでからは一寸したあはがき位は送つてやるべし歸れば勿論二三日中には招んで面しろかつた話や眞じめで咎つたこと話をへし必ずげいしやはうれしがるものなり

但し以上三十ケ條の條件には世間前なゝ遠慮せぬ勇きを要す

知人消息

回中野甲藏氏　舊獵中の病氣は全快し小田吉次君との仲も圓滿に收まつて捲土重來の奮闘は愈々將來に期待さるべし昭和二年はそれ好漢の活舞臺なるか。

回鈴木唯治氏　堀江工業の江口氏に依つて事業界の人物に引立てられ今日の位置を獲得し活動することゝ恩人江口氏の好女房役たり、猛進豪放の裏に大いに食指を動かす美形あれ共君の賢妻はよく是れを制せしむるとか浦山敷かな。

回山田磐麿氏　福島民報主幹の山野邊君は從來の庄吉の名を今度姓名學上の判斷に依つて眞立と改めたそうです、そして此の命名に意義あらしむべく活動を開始するとの由

回諸橋元三郎氏　平釜屋の勘定奉行の旁ら最近姓名學研究に余念がなく大いに氣焔を上げて運勢を鑑判し居るとの事自己の運命に迷へる居るものは行つて見て貰ふべし但し見料ロハたること請合。

回伊東一氏　博覽會成功者たる君は近く信州松本市に市制二十五週年紀念博覽會を開催すべく部下の人物に引立てられ今日の位置を獲得し活動することゝ恩人江口氏の好女房役たり、猛進豪放の裏に大いに食指を動かす美形あれ共君の賢妻はよく是れを制せしむるとか浦山敷かな。

回山田磐麿氏　福島民報主幹の山野邊君は從來の庄吉の名を今度姓名學上の判斷に依つて眞立と改めたそうです、そして此の命名に意義あらしむべく活動を開始するとの由

回諸橋元三郎氏　平釜屋の勘定奉行の旁ら最近姓名學研究に余念がなく大いに氣焔を上げて運勢を鑑判し居るとの事自己の運命に迷へる居るものは行つて見て貰ふべし但し見料ロハたること請合。

回伊東一氏　博覽會を開催すべく部下は既に同地に乘込んで開催の準備とあればこれ又甲府市に於て成功せる如く成功することなるべし

讀者の皆樣へ

讀者の新聞たる磐城之實業も今回の發行が調度發行の時に差懸つて印刷場がビラ廣告等臨時物の注文が出なし隨つて發行が遲れた譯ですから何卒悪からず御許し下さい。

花柳界旦月

平藝妓屋組合の五人男

善か悪か德か策か閲歴か手腕か是等五人男を次號に評論す。

負請立所地
帶一裏町南町平
會商榮工合資會社
目丁四町平

〔外科　婦人科　花柳病科〕
東北醫學士市原陸郎
日本醫學士日高忠男
磐城病院
平町田町（電話一二四番）
（內科小兒科）院長
市原卯太郎

色特の社本
平代理店主
中野甲藏
横濱生命保險株式會社
契約者には初年度より利益の配當をなす
株式組織にして相互會社を兼有する特長あり

磐城セメント販賣所は！
型錄進呈
特約代理店
和洋銅鐵
金物問屋
ベルサン
久
諸橋久太郎商店
振替口座東京一〇九五六番
電話局九番　一九三番
磐城平町五丁目

平町三丁目（電四一八番）
佐川洋服店營業部
平町南町通（電二六九番）
佐川洋服本店
植田町本町通り
佐川洋服店支店

期日の責務を重じ裁縫は入念し價格は勉強す

賣株は一株より懇切に迅速に御取引致します
駒場四郎商店
平町田町四六町五六番電話八番

第十四回
決算報告
昭和元年十二月卅一日現在

貸借對照表

資産之部

資本金	三七、五〇〇、〇〇〇
諸積立金	六二、九五五、六五〇
諸預り金	一九、二四、七五〇
他店ヨリ借	四九、六三九、九三〇
未拂利息	一、六五、三六〇
未拂割賦金及未經過割引料	三六、九四、一四〇
當期純益金	三五、〇六五、三六〇
合計	一、六九九、五三二、〇〇〇

負債之部

資本金	二〇〇、〇〇〇、〇〇〇
諸積立金	七、三七七、四〇〇
諸預り金	一〇一、四二六、一六〇
他店ヨリ借	一、六五、七〇〇
未拂利息	四七、八三四、四二〇
未拂割賦金及未經過割引料	四四三、〇〇〇、〇〇〇
當期純益金	二、九六一、五二五
合計	一、六九九、五三二、〇〇〇

第十四期
營業報告
昭和元年十二月卅一日現在

貸借對照表

資産ノ部

未拂込資本金	二〇〇、〇〇〇、〇〇〇
什器	七、三七七、四〇〇
未收入工事金	一〇一、四二六、一六〇
商品	一、六五、七〇〇
家屋及機械	四七、八三四、四二〇
振替口座拂	四四三、〇〇〇、〇〇〇
商品代未收	二、九六一、五二五
保證劵金	三、〇九四、五三〇
有價證劵	五、五七五、〇〇〇
萬年社勘定	一、四六六、九〇〇
四倉販賣勘定	一九、八六九、九〇〇
青森工事	二六九、九一〇
江名子商品	七、五六七、六九〇
宮城工事	一、一四一、六四〇
萬年社勘定	二、四〇〇、〇〇〇
計	四一、二六〇、〇〇〇

負債ノ部

資本金	三〇〇、〇〇〇、〇〇〇
借入金	八、〇一九、〇〇〇
當座預金	七、〇九一、一一〇
原料	一、〇五、〇六五
假拂金	三、九五〇、〇〇〇
商品	二六九、九一〇
銀行勘定	一、四一、六四〇
借入有價證劵	二、四〇〇、〇〇〇
未拂配當金	四一、二六〇
未拂工事金	四三、五五、九三五
積立金	一、〇九一、二五〇
法定積立金	三、九五〇、〇〇〇
未拂金	一、五、一五、〇〇〇
前期繰越金	一、六六、九四〇
假入金	一〇〇、〇一〇
利益金處分案	一、九一、六〇〇
計	四三、五五、九三五

利益金處分案

一金壹千九拾壹圓貳拾七錢也	前期繰越金
一金八千貳百四拾五圓九拾也	當期純益金
一金九千參百參拾七圓貳拾六錢也	
此レヲ處分スルコト左ノ如シ	
一金九百圓也	法定積立金
一金參百圓也	重役賞與金
一金七千五百圓也	株主配當金
一金壹千參拾七圓貳拾六錢也	後期繰越金

右之通リ相違無之候也

昭和元年十二月三十一日

株式會社
堀江工業
株式會社

取締役社長　堀江定吉
取締役　江口忠一
取締役　戸田兵藏
取締役　鈴木唯治
取締役　佐藤禎二
取締役　井川得良
兼支配人　鈴木唯治
前記ノ各項ヲ調査シ其正確ヲ相認メ候也
監査役　渡邊武雄
監査役　小林松枝
監査役　吉田良輔
監査役　盛治

第八回
營業報告
昭和元年十二月卅一日現在

貸借對照表

資産ノ部

未拂込資本金	六〇、〇〇〇、〇〇〇
什器	一、七五五、八四〇
未收入金	一三、六五五、〇六〇
家屋機械	二七、五六二、九一〇
當座預金	一四七、五八〇
原料	六四六、五〇〇
假拂金	一、〇七五、〇〇〇
商品	二六、九〇〇、九〇〇
銀行勘定	二七、九一〇
販賣部勘定	三〇二、七五〇
計	一三、三三四、四〇〇

負債ノ部

資本金	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇
借入金	三、七四一、九五〇
法定積立金	一、四〇〇、〇〇〇
未拂金	四、〇一八、一〇〇
前期繰越金	三九六、〇五〇
假入金	一〇〇、〇〇〇
金	三、六六八、二六〇
計	一三、三三四、四〇〇

利益金處分案

一金參百九拾六圓五錢也	前期繰越金
一金參千六百六拾八圓貳拾八錢也	當期純益金
計金四千六拾四圓參拾參錢也	
此處分案左ノ如シ	
一金四百圓也	法定積立金
一金壹百圓也	重役報酬
一金參千圓也	
〔年壹割五分〕株主配當金	
一金五百六拾四圓參拾參錢也	後期繰越金

右之通リ相違無之候也

昭和元年十二月三十一日

福島縣四倉町
萬年瓦工業
株式會社

取締役社長　江口忠一
取締役　江口清
取締役　戸田兵藏
取締役　鈴木唯治
前記各項調査シタル處正確ナルヲ相認メ候也
監査役　大和田安太郎

一大奉仕的値下げに就て
敢て同胞諸君の御同情を仰ぐ

生産者より消費者へ

星製薬株式會社

（一）生産者と消費者との共存共榮の原則に基き、星製薬株式會社は去十五日より製品の一大値下げを實行することにした。値下げの率は製品に付いて御覽下さい、本社の斷行に對して同胞諸君の御歡迎を仰ぎ且御同情を仰ぎ奉る次第である。

（二）本社は過去二ヶ年有半に亘り、非常なる困難に遭遇したがよく其の困難に善處して、自己改革を爲し自己整理を爲し、一路以て時勢の要求に應ずる進歩の道を開拓することに努力し、其の結果今日斯の如き一大値下げを斷行する事が出來たのである。

（三）本社のモツトーは親切第一を主義として營利事業を經營しつつ社會奉仕をするにあり、微力ながら終始一貫此のモツトーを最も忠實に守ることに努力したものである。

昨年四月一日賣藥稅が撤廢に決するや本社は印紙稅に相當する値下げを斷行した。當時、東京賣藥同業組合及び藥業聯合會の連中は、値下げをせぬと決議をしたるのみか、次いで本社が販賣組織をチエーンストアに改め製品の奉仕的販賣を開始するや、彼等は猛烈なる反對を試み、殆んど法律を無視して暴力に等しき妨害を加へた。然し同胞諸君は公平であつた、本社の製品を相變らず御採用下された、其の御信任と御同情とに對して厚く感謝の意を表し奉る。

（四）由來賣藥同業組合には惡き風習がある。それは徒らに民衆の金を搾り取る事を以て能事として居ることの一事である。小賣人の中にも品質の如何を問はず、利益の多い藥を民衆に勸める惡い習慣がある。是等の習慣あるが爲めに社會奉仕をモツトーとする本社は創設以來絶えず同業組合の冷遇干渉の的となつて來たのである。

（五）今回の値下げに對しても同業者は必ずや本社に對し、種々なる罵言非難の聲を高め、更に辛辣なる壓迫を加へて來る事は彼等の過去に照して明らかである。

同胞諸君よ、是等の非難攻擊に耳を藉すことなく、眞に本社の過去の努力に共鳴し、現在の困窮に同情され此の一大奉仕的活動に滿腔の御後援あらん事を切に希望して已まぬのである。

（六）我々は大正十四年十二月より、現金販賣を爲し、原料の現金仕入に努め『努力を基礎にしたる金融』を遵奉し、節約に節約を重ねて、專ら生産費の低減を計り、一面販賣組織を直接販賣のチエーンストアに改め消費の理想とする『生産者より消費者へ』を實行し、並に立派に値段の引下げをする事が出來たのである。

（七）今回の値下げを以て素より我々は滿足するものではない。然し斯の如く一大値下げを斷行した事に對して普く同胞諸君の御同情を仰ぎたい。

（八）皆さん御最負のホシ胃腸藥の例を示せば、定價五十錢なりしものが印紙稅撤廢と共に四十五錢に値下げ更に今回三十七錢に値下げをした。胃腸藥と相並んで年中需要の多い感冒錠は、五十錢であつたが印紙稅撤廢と共に四十五錢に値下げをした。今又三十四錢に値下げをしたのである。感冒錠が胃腸藥に比して値下げの率の多いのは、原料のキニーネを本社が製造してゐるからである。序でながら、本社のキニーネ製造所は、日本に唯一のものであり、昨年十月一日世界のキニーネ製造同盟に加入する事になつた、日本に幾多の製造工業があるけれども世界的シンジケートに加入して居るものは此のキニーネ一つあるのみである。此の一事に徴しても本社の製造が眞に世界的なる事及び他に卒先して値段の引下げを爲し得る事情に就いて御了解を得らるゝと思ふ。

（九）我々同業者中には政府より數百萬圓の補助金を貰ひ、三百萬圓の低利資金を借りたものもあるが本社は政府より迫害こそ受けたが、補助金も貰はず低利資金をも借りずに今日まで大きな活動を繼續し得た事は、星製薬、株主社債所有者諸君の協力と一般同胞諸君の御後援の賜であると常に感謝して居る次第である。

（一〇）今日、日本には幾多の製藥會社がある然し本社を除いた他の製藥會社は、多くは問屋が製造家に變つたものである。製造家には自ら製造家氣質があり、問屋には問屋氣質があり、問屋氣質の殘つて居る製造家は、目前性の利益のみを追ひ、更に人の努力を奪ふ陋劣なる習慣を持つて居るが故に、機會さへあれば他人の努力の結晶を奪はんとするのである。

（一一）御覽なさい、本社が臺灣總督府より拂下げて居る粗製モルヒネに對して、三共製藥、大日本製藥、ラヂウム製藥の三會社は一致して、阿片事件を幸ひに本社の努力を奪はんとしたではなからうか。

最近百萬圓事件その他種々なる噂があつたが、關係者の名譽の爲めに本社は其等の噂の眞實ならざる事を希望する然し何等研究發明に從事せず、或る力と結びついて、人の努力の賜を奪ふといふが如き惡習慣が尠くとも我製藥界に存在する事を遺憾とする此間にあつて製造家氣質の永遠性を以て社會奉仕をなす本社の苦衷の程を御賢察仰ぎ奉る。

（一二）生産者と消費者とは利害共通にして、生産者は消費者に、消費者は生産者に奉仕をなすべきものと信ずる。今回の値下げも畢竟本社が皆さんに奉仕し皆さんより愛されんが爲めである。

（一三）本社は本月より株主に對して一割、優先株一割に對して一割五分の配當商品券、社債（八分）に對して一割二分、債券（九分）に對して一割三分五厘の利子商品券を發行し、協力的御同情を仰ぐことにした。

同胞諸君よ！何卒ホシチエーンストアを可愛がつて下さい。彼等は微力ながら本社と共に社會奉仕的販賣に從事して居ります。

本社の社員從業員一同の協力的努力を見てやつて下さい。彼等の働きは宗教的である。斯く内は社員從業員外はホシチエーンストアの協力とに依つて今回の値下をなすことが出來たのである。

同胞諸君よ！本社の『製造家より消費者へ』主義をして完全に遂行の出來る樣御同情御後援を願上奉ります

チエーンストアの便のなき場合は、本社直接御注文を願上ます。

送料當社負擔、代金引換にて金額の大小を論せず、直に御送品申上げます。

同胞諸君よ！諸君に宗教的犧牲を以て奉仕せんとする本社を愛して下さい、同情して下さい、そして本社に充分の努力をなさしめて下さい。本社は共同情に對して報謝の念を以て一層努力を惜まざるものであります

謹んで右御願申上げ皆さんの御健康を祈り上げ奉る。

生産者より消費者へ

謹告

一私共は星社長の國家的貢献、社會奉仕的活動に共鳴し、宗教的信念と愛とを以つて、協力一致社長の事業遂行に努力するものであります。

二今回の値下げに對しても、我々一同は大會を開き、滿場一致の決議を以つて、此値下げに共鳴致しました。我々は以前に優る協力一致の努力をなし、一層製造に注意し、皆さんの御滿足に副ふ樣に致します。

三皆さん、何卒本社の此の値下げを御歡迎下され、御同情、御後援の程御願申上げます。

星製薬株式會社　社員從業員一同

本紙は本社の私有にあらず社會共有の公的言論機關也常に紙面を開放して何人の爲めにも
の一信條……其利用を快諾し持に主として實業界の機關となり努めて實益を主眼とす
本紙は絶對不可侵の權威を以て論議公正にして愚劣無價値の記事を採らず磐城地方唯一の
實業機關たるの本領を發揮す之本紙の使命也

ホシはリスク

東京　星製薬株式會社　大阪

リスクのヤリスク化粧品
リスクのヤリスク食料品

（大正十四年第三種郵便物認可）
磐城之實業
毎月（旬）二十日
發行兼編輯人　大和田與平
印刷人　大和田與平
發行所　磐城之實業社　電話五二二番

◇評論し嘲弄して大いに虚勢を張りたがる。◇

▲谷口　東京下谷區入谷町　平町一丁目（千代駒）

▲甲子　福島市　平町鎌田町（小米）　小野　ハル（三五）

▲三好家　横濱市米吉町　東京本所區押上町（小すみ）　北邑　フシ（三〇）

茨城縣東茨城郡吉田村（宮彌）　加藤　あき（三五）

水戸市下市濱町（半千代）　松永　梅子（三〇）

第五拾貳期　營業報告
資産ノ部
拂込未濟資本金六、〇〇〇、〇〇〇